

AREA Report 471

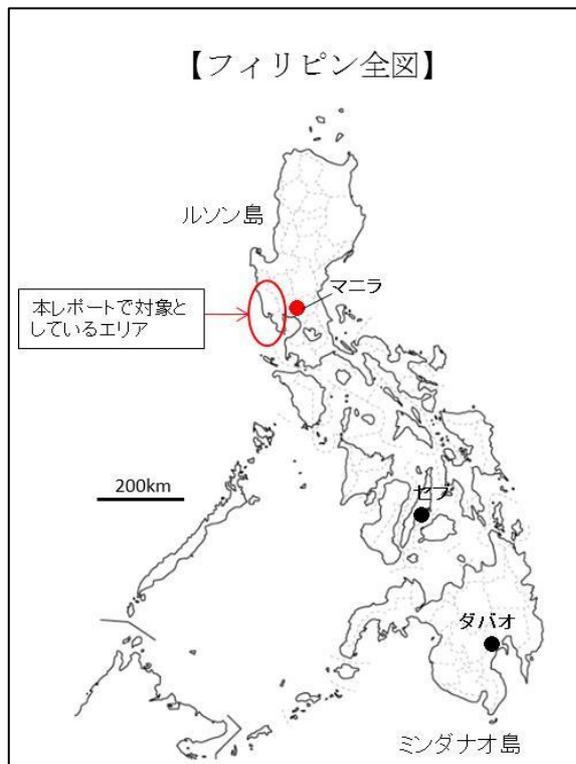
フィリピン投資環境レポート:

ルソン島北部編 パート 2: クラーク、スービック、バターン

三菱東京UFJ銀行 国際業務部

フィリピンのルソン島北部における代表的な工業団地に「クラーク特別経済区」、「スービック湾自由港」内の工業団地があります。1991年に返還された旧米軍基地のインフラを活用すべく工業団地等に転換したものです。また、スービック湾自由港の南東のバターン・エリアには、「ヘルモサ・エコゾーン工業団地」があり、ルソン島南西部でライトインダストリー&サイエンスパーク（LISP）を経営している会社が出資・運営しています。

「クラーク特別経済区」、「スービック湾自由港」に進出した企業には、製品の70%以上が輸出されることを条件に「総所得の5%の優遇総所得課税」が適用されるという税制メリットを享受できます。



(出所) 三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

マニラからクラークへは高速道路で2時間程度で到着します。クラークの空港は将来、地域のハブ空港であるマニラを補完する空港になることが期待されています。また、スービック港にはコンテナ・ターミナルが整備されています。

日系企業は、クラーク特別経済区に、横浜ゴム、SMK、ナノックス（日本板硝子）、日本ライトン、アデランス等、スービック湾自由港に日本電産、日立オムロンターミナルソリューションズ、山洋電気等が進出しています。ヘルモサ・エコゾーン工業団地には、住友電装が進出しています。

《目次》

I. ルソン島北部の投資環境	… p 3
1. 工業団地の入居可能面積、価格比較	… p 3
2. ルソン島北部の工業団地	… p 4
(1) クラーク特別経済区	… p 4
(2) スービック湾自由港	… p 11
(3) ヘルモサ・エコゾーン工業団地（バターン）	… p 17
II. 三菱東京UFJ銀行フィリピン拠点のご案内	… p 19
クラーク、スービック、バターンの位置関係図	… p 20

I.ルソン島北部の投資環境

1. 工業団地の入居可能面積、価格比較

今回調査したルソン島北部の4つの工業団地の入居可能面積、販売価格は以下の通り。

フィリピンのルソン島北部における代表的な工業団地として「クラーク特別経済区」、「スービック湾自由港」がある。これらは1991年に返還された旧米軍基地のインフラを活用すべく工業団地等に転換したものである。また、スービック湾自由港の南東には、ルソン島南西部でLISP工業団地の運営会社が出資・運営する「ヘルモサ・エコゾーン工業団地」がある。

「クラーク特別経済区」、「スービック湾自由港」に進出した企業には、製品の70%以上が輸出されることを条件に「総所得の5%の優遇総所得課税」が適用されるという税制メリットがある。クラークの空港は、将来、地域のハブ空港であるマニラを補完する空港になることが期待されている。また、スービック港にはコンテナ・ターミナルが整備されている。

日系企業は、クラーク特別経済区に、横浜ゴム、SMK、ナノックス（日本板硝子）、日本ライオン、アデランス等、スービック湾自由港に日本電産、日立オムロンターミナルソリューションズ、山洋電気等が進出。ヘルモサ・エコゾーン工業団地には、住友電装が進出している。

なお、「クラーク特別経済区」、「スービック湾自由港」の工業団地には、日本人の担当者は駐在しておらず、工業団地担当者とは英語でコミュニケーションする必要がある。ヘルモサ・エコゾーン工業団地には、マニラに日本人担当者がいるため、日本語での対応が可能である。

ルソン島北部の工業団地の主要地点からの距離、開発面積、販売価格

No.	工業団地名	距離 (Km)		面積 (ha)		販売価格 (US\$/m ²)	備考
		マニラ中心部まで	スービック湾自由港まで	開発面積	残り入居可能面積		
1	クラーク特別経済区	90	70	527	60	賃貸のみ。 土地0.65米ドル/m ² /月。	工業用地は分散している。
	スービック湾自由港						
2	スービック・テクノパーク	165	4	60	0	賃貸のみ。	日本電産等入居。
3	スービックベイ・ゲートウェイパーク	160	6	300	わずか	賃貸のみ。	入居企業運営の貸工場あり。
4	ヘルモサ・エコゾーン工業団地	50	57	77	65	1. PEZA登録企業 4,000ペソ/m ² /50年。 (=約80米ドル/m ²) 2. 非PEZA登録企業 4,500ペソ/m ² /50年。 (=約89米ドル/m ²)	住友電装入居。

(出所)各工業団地資料、ヒアリング(2017年2月)より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

2. ルソン島北部の工業団地

(1) クラーク特別経済区

クラーク特別経済区（Clark Special Economic Zone）は、1991年に米軍のクラーク空軍基地がフィリピンに返還された後、1992年の基地転換法により設立された。クラーク開発公社（CDC）に登録した企業には、「全ての国税・地方税に代わる、総所得の5%の最終税の支払い」等の財務面での優遇措置が与えられる。

所有・運営主体	Clark Development Corporation（CDC）クラーク開発公社
事業名	Clark Freeport Zone, Special Economic Zone （クラーク自由港、クラーク特別経済区）
開設	1991年にクラーク米軍基地がフィリピンに返還された。1992年の基地転換法により設立。2007年4月の共和国法第7227号により、4,400haの旧クラーク米軍基地を自由港区とすることになった。これにより、同エリアはスービック湾自由港と同様の財務面での優遇が受けられることになった。
クラーク開発公社 販売担当者、 事務所所在地	Mr. Andre Benedict T. Rivera Bldg 2125, C.P. Garcia cor. E. Quirino Avenue, Clark Freeport Zone Tel No. + (6345) 599-2642 E-mail: AndreBenedict.Rivera@clark.com.ph
アクセス	マニラからスービック・クラーク・ターラック高速道路を利用。
工業団地からの距離	マニラ中心部（マカティ）より90km。1時間。 スービック湾自由港より70km。50分。
総開発面積	32,000ha。
フェーズ1：メインゾーン	4,400ha。うち工業団地エリア残り60ha。
フェーズ2：サブゾーン	27,600ha。今後開発。
付帯施設等	フェーズ1のメインゾーン内に、空港（DMIA=Diosdado Macapagal International Airport）、ショッピングセンター（SM）、ホテル（ホリデー・イン等）、日本食レストラン、各種レクリエーション施設、カジノなどがある。
土地価格	工業団地エリアは賃貸のみ。土地の賃料は、US\$0.65/m ² /月。
電力供給	NAPOCORから供給。
工業用水	団地内深井戸より取水の上、各入居企業に給水。
工業下水排水処理場	Metro Clark Waste Management Corpが運営。
入居企業	製造業165社。日系企業は、横浜ゴム、SMK、ナノックス（日本板硝子）等が入居。

（出所）クラーク開発公社資料（2017年2月）より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

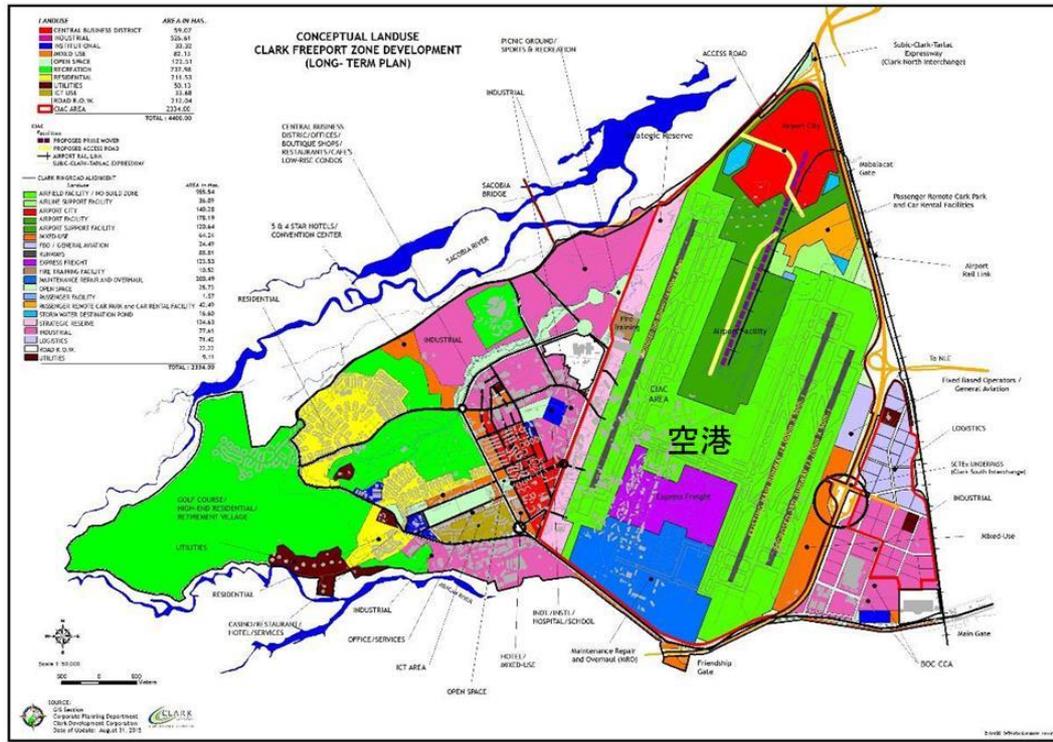
クラーク経済特別区テナントリスト

No.	親会社名	会社名	国籍	主要製品
1	アデランス	ADERANS PHILIPPINES, INC.	日本	男性用・女性用ウィッグ
2		CLARK PREMIER INDUSTRIAL PARK, INC.	日本	工業団地運営
3	フジプラスチック工業	FUJI PLASTIC INDUSTRY PHILS. INC.	日本	プラスチック・モールド製品
4	コミヤ	KOMIYA PHILIPPINES, INC.	日本	宝石加工
5		Kosmic Clark Medical Company, Inc.	日本	医療機器
6	日本ライトン	L & K Industries Philippines, Inc.	日本	リードフレーム、LED
7	ナノックス <small>(日本板硝子)</small>	Nanox Philippines, Inc.	日本	中小型液晶表示パネル
8	SMK	SMK Electronics (Phils.) Corp. (I)	日本	タッチパネル、リモコン、キーボード
9	住友電装	Sumidense Automotive Technologies Asia Corporation	日本	自動車用ワイヤーハーネス研究開発
10	谷川製作所	Tanitec International Corporation	日本	部品トレー
11	テクノウッド	Technowood Manufacturing Corporation	日本	ディスプレイ用医療器具
12	横浜ゴム	Yokohama Tire Phils., Inc.	日本	自動車用タイヤ
13	西芳物流	Nishiyoshi Forwarding, Inc.	日本	物流関連
14	明星電気	Meisei Electric (Phils.) Corporation	日本	電子部品用材料
15		OAK LEATHER CLARK, INC.	比日	レザー・グローブ
16		Aritake Estates, Inc.	日本	オフィススペース賃貸
17		TRS PHILS CORPORATION	日本	手術用ディスプレイ用医療器具
18	近鉄エクスプレス	Kintetsu World Express (Philippines) Inc.	日本	フォワーディング用オフィス
19	近鉄エクスプレス	Kintetsu World Express (Clark) Inc.	日本	倉庫、物流
20	日本通運	NIPPON EXPRESS PHILIPPINES CORPORATION	日本	倉庫
21		FRP COMPOSITE INTERNATIONAL CORPORATION	日本	金型
22		ELITECLEAN, INC.	日本	ランドリー
23	ヤンマーエンジニアリング	YANMAR ENGINEERING CO., LTD.	日本	メンテナンス
24		LEATHEX PHILS., INC.	日本	レザー衣料
25	ぐんぐん	GNGN EIKAIWA PHILS., INC.	日本	英語教育
26	大陽日酸	TAIYO NIPPON SANZO CLARK, INC.	日本	産業用ガス
27	北関工業	FRP JHK CORP.	日本	プラスチック製品
28	横井定	YOKOISADA (PHILS.) CORPORATION	日本	手術用マスク
29		Koruchem Global Links, Inc.	日本	健康関連製品
30		Shou-yen Manufacturing Inc.	日本	—
31		TANIKA (PHILIPPINES) CORPORATION	日本	おもちゃ
32	昭和飛行機工業	Showa Aircraft Industry Philippines, Inc.	日本	航空機部品
33	アークテック	CL ARKTECH INC.	日本	航空機、自動車用部品
34	アンドロボティクス	ANDROBOTICS CLARK, INC	日本	ロボット
35	後藤電子	GOTO DENSHI MFG. PHILS., INC.	日本	AVシステム
36	ジャムコ	Jamco Philippines, Inc.	日本	航空機内装品
37	竹代	JTA ELECTRONICS PHILS. CORPORATION	日本	ワイヤーハーネス
38	エレマテック	ELEMATEC ANGELES INC.	日本	各種材料
39		JSN.GLOBAL INC.	日本	オフィススペース賃貸
40		HEARTFIELD ATELIER CORPORATION	日本	おもちゃ、お土産
41	バリッジ	VALIDGE PHILIPPINES CORPORATION	日本	モーター、ポンプ
42	日新	NISSIN TRANSPORT PHILIPPINES CORPORATION	日本	物流関連

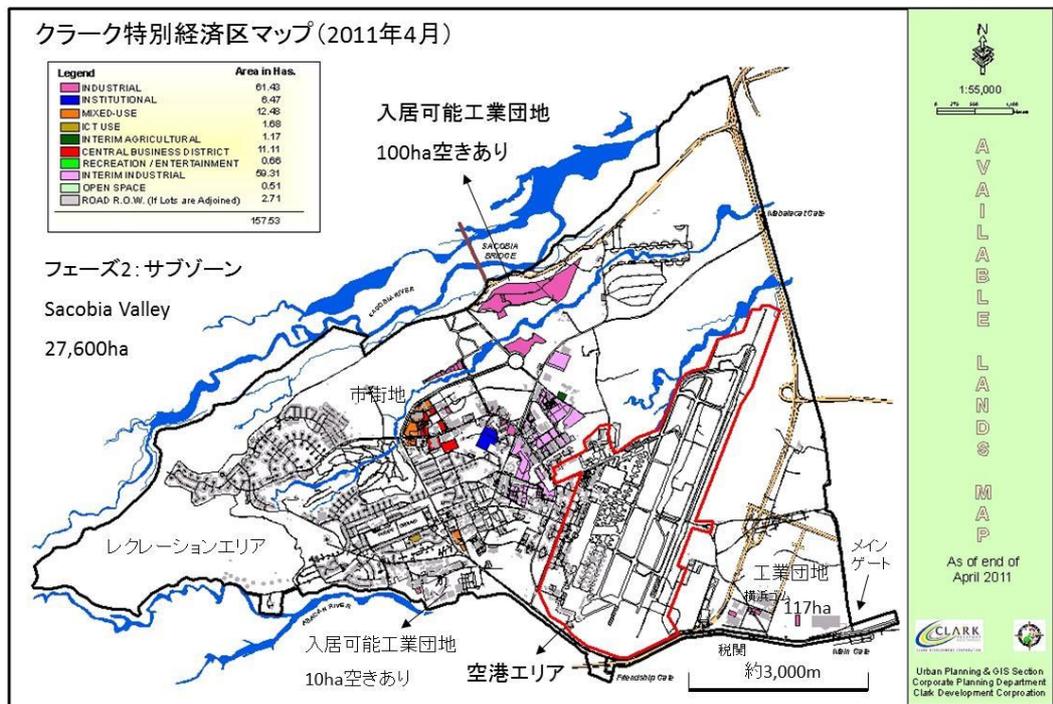
(出所) クラーク開発公社資料 (2017年2月) より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

下の2つのクラーク特別経済区マップを見ると、2011年より2017年の方が緑色の空港の面積が拡大していることがわかる。将来的なビジョンを持って空港機能の強化が図られているもの。2017年の空港の左右のピンク色が工業エリアである。

クラーク特別経済区マップ(2017年2月)



クラーク特別経済区マップ(2011年4月)



(出所) クラーク特別経済区資料より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

◇ クラーク特別経済区担当者のコメント（2017年2月）

➤ 概要

- ✓ マニラから 80km 北に位置する。旧米軍基地。面積 31,400ha うち特別経済区（SEZ）27,000ha、残りが自由港ゾーンで、空港ゾーン 2,300ha と複合利用ゾーン 2,100ha に分かれる。標高 128m。国際空港がある。自由港ゾーンはフェンスで囲まれており、3,000 名の警察官が巡回している。また、200 台以上のテレビカメラが配置されている。このため、セキュリティーが高く犯罪率は低い。
- ✓ 入居企業数 895、うち日系企業 39。入居企業の業種は商業が多い。最も大きな入居企業は NANOX で 9,064 人を雇用している。入居企業の総雇用数は 93,089 人。
- ✓ 空の便は、週 184 便が運行している。エミレーツ、PAC、セブ、タイガーエアなど。
- ✓ 本エリアは、ブランド再構築を進めている。新しいコンセプトは、Everything Clark。ゴルフ、カジノなど様々なものがあるエリアというイメージ。2017 年 11 月には当地でアセアンの 50 周年イベントも開催予定。
- ✓ マリオットホテルが建設される予定、また、RoyceHotels & Casino が 3 年後に完成予定、投資額 35 億米ドル。韓国系の Sunvalley が 300ha の土地にゴルフ・コースとヒルトンホテルを建設する。フィリピン企業による動物園とサファリパーク、台湾企業によるテーマ・パークの開発計画もある。ビルの開発としては、シンガポール企業によるメインゲート付近への Clark Green Trontier 開発計画がある。

➤ 工業団地

- ✓ 工業団地の残り入居可能面積は 60ha。土地は各地に分散しており、5~10ha の大きな区画の確保は難しい。広い土地が必要な場合は相談してほしい。工業団地への入居企業はマスター・プランに基づきレビューされる。最近では IT、BPO 系企業からの問合せが多い。また、Timberland の靴を作っている中国系企業が工場を拡張した。
- ✓ 工業団地の賃貸価格は 0.65 米ドル/m²/月。商業施設は 2 米ドル/m²/月。工業団地の価格の方が低いのは、工場の方が、雇用する人数が多いためである。

➤ 大型プロジェクト

- ✓ マニラークラーク鉄道。マニラからクラークまで鉄道で、1 時間でつなぐプロジェクト。2021 年の完成を目指す。日本政府が援助。
- ✓ スービックークラーク貨物鉄道。2020 年の完成を目指す。現在、スービック港は輸出貨物量が少なく、輸出用の荷が一杯になるまでに時間がかかっている。このためスービック港の活用が進まず、マニラ港が使われるケースが多い。本プロジェクトを経て、スービック港の利便性が増し、活用が進むことが期待される。
- ✓ クラーク空港拡張。旅客利用可能数を現在の年 200 万人から年 800 万人にする。2019

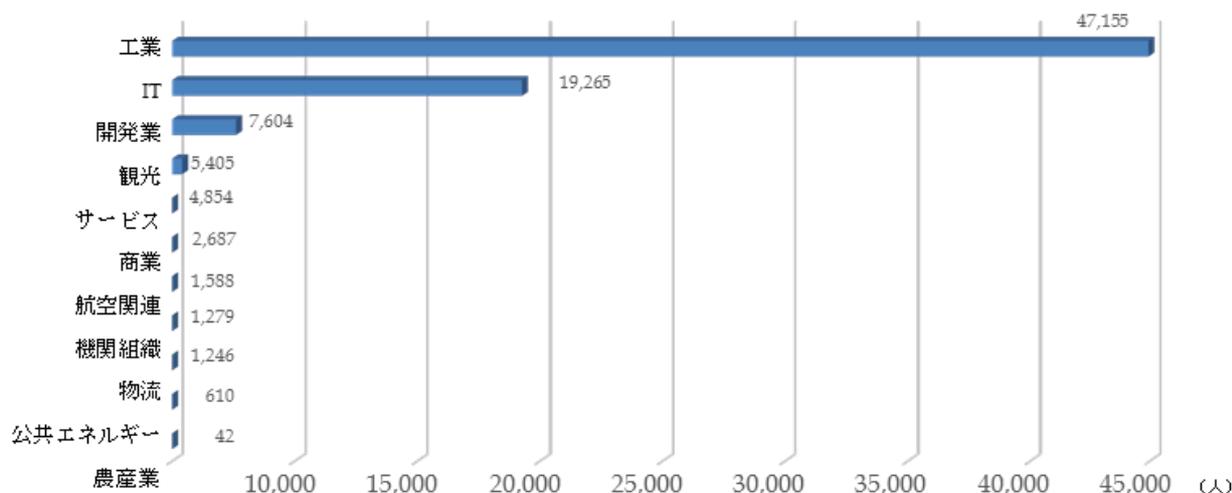
年の完成を目指す。マニラは計画的な空港整備ができなかった。クラークはその轍を踏まず、計画的にインフラ整備を進める方針。このため、空港エリアが5年前より拡大している。空港には3,200mの滑走路が2本ある。クラーク空港とマニラ空港は、将来、日本における成田と羽田空港のように首都のデュアル空港の位置付けとなる。

クラーク特別経済区従業員数上位企業リスト(2016年12月)

No.	親会社名	会社名	従業員数 (人)
1	ナノックス (日本板硝子)	Nanox Philippines, Inc.	9,064
2		Premier Central	5,809
3		Sutherland	5,479
4		IQOR Phils.	4,705
5		L&T International	4,538
6	SMK	SMK Electronics	3,293
7	横浜ゴム	Yokohama Tire Philippines, Inc.	3,164
8		Texas Instruments	1,805
9		GGDC	1,765
10		NCO Philippines	1,673
11		Amertron	1,626
12		PSPC	1,596
13	アデランス	Aderans Philippines, Inc.	1,559

(出所) クラーク特別経済区資料(2017年2月)より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

クラーク特別経済区業種別就労人数(2016年9月)



(出所) クラーク特別経済区資料より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

クラーク特別経済区における国別/業種別入居企業数上位リスト(2016年12月31日現在)

(単位：社)

No.	国籍	業種区分											入居企業数
		商業	サービス業	工業	IT	観光	物流	機関組織	航空関連	不動産	公共エネルギー	農産業	
1	フィリピン	189	136	46	27	23	35	31	22	9	12	3	533
2	韓国	11	27	14	11	21		5		2		1	92
3	米国	2	6	15	21	1	3		1	2			51
4	オーストラリア		1	13	26	1		1					42
4	日本		2	28	1	1	6			1			39
6	香港		3	6	7		2		1				19
7	台湾			12	1					1			14
8	英国		3	2	6		1	1					13
9	英領バージン諸島		1	3	2	1	1	1		2	1		12
10	中国	1	3	6	1			1					12
11	シンガポール	1	3	3			2		2	1			12
12	その他	5	7	17	15	1	3	1	7	0	0	0	56
	合計	209	192	165	118	49	53	41	33	18	13	4	895

(出所) クラーク特別経済区資料より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

クラーク特別経済区における輸出額上位10社(2016年12月現在)

No.	親会社名	会社名	国籍	輸出額 (米ドル)	主要製品
1	SFA Semicon Co.,Ltd	Phoenix Semiconductor Philippines Corp.	韓国	1,630,838,035	半導体パッケージング
2	ナノックス (日本板硝子)	Nanox Philippines, Inc.	日本	771,943,122	中小型液晶表示パネル
3	横浜ゴム	Yokohama Tire Philippines, Inc.	日本	273,115,399	自動車用タイヤ
4	SMK	SMK Electronics (Philis.) Corp.	日本	128,249,441	タッチパネル、リモコン、キーボード
5	-	L&T International Groups Phils, Inc.	-	101,120,711	衣料
6	-	Amertron, Inc.	-	58,159,991	半導体
7	-	Outback Five Star Clark Philippines, Inc.	-	27,627,448	グラスファイバー
8	-	Hld Clark Steel Pipe Co. Inc.	-	27,050,595	鉄パイプ製品
9	-	Charter Link Clark	-	24,108,299	衣料
10	-	Prudence	-	22,184,639	タバコ製品
11	-	Others	-	252,942,302	
		合計 (2016年9月)		3,317,339,982	

(出所) クラーク特別経済区資料より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

◇ クラーク特別経済区入居企業のコメント (2017年2月)

クラーク特別経済区に入居する製造業の方にお話を伺った。以下、概要を記す。

▶ 当地選定理由

- ✓ クラークに進出したのは、進出前に中国、ベトナム、タイ、フィリピンを調査して、次のメリットがあったため。①フィリピン人は英語ができるので作業手順書類が英語で作成されていればコミュニケーションが容易、②賃金が低い、③人の確保が容易。
- ✓ インフラについては、最近停電はあまりない。自家発電装置を持っているので、24時間稼働が可能。排水については、土地が少し高くなっており洪水はない。
- ✓ 物流については、ほとんどの材料はマニラ港から入れている。スービック港からは機械を入れている。航空便については、クラーク空港の便数は増えているが中小型の機体である。
- ✓ 一般工の確保は容易。候補者の応募書類は1ヵ月でダンボール一箱にもなる。マネージャークラスや会計担当は応募者の選定に時間がかかる。スタッフは工場の周辺に住んでいる。1部屋に3名ぐらいに住んでいるようだ。これらの人は、毎週末、または隔週、月1回などの頻度で故郷に帰っている。
- ✓ 給与水準は一般工で月2万円ぐらいから。一般工は日本の時給がフィリピンの日給のイメージ。通勤はジプニー、二輪（バイク）を使っている。マネージャー、スーパーバイザーの給与は高い。
- ✓ 社員の仕事ぶりは良好。英語をきっちりと話すとても陽気な人が多い。人前では叱らないようにしている。品質など日本的なものは譲れないのでしっかり指導している。
- ✓ 賃上げ率は年3~5%程度。昇給は年1回。フィリピン人はポジションへのこだわりがある。
- ✓ 離職率は年3%と低い。離職の理由は海外で働く（＝給与が高い）、学校に戻る、というのが多い。
- ✓ 日本人は韓国資本のアパートに住んでいる人やホテルに住んでいる人が多い。周辺には居住可能なホテルが4つある。
- ✓ クラークの外側にもホテルが増えた。クラークと韓国のインチョン空港にダイレクト便があるので、韓国人の旅行客が増えている。このため冬場のゴルフのプレーフィーが1,000ペソ（約2,400円）ほど高くなった。
- ✓ 日本に帰国する場合はマニラまで出ている。クラークからだとは日本への直行便がない。韓国でトランジットすると時間がかかる。
- ✓ クラークはどんどん発展しているので、今後、製造業の土地の確保は難しくなるだろう。自由港なので輸出型企業の進出に向く。治安はよい。アメリカナイズされており、敷地内に木も多く環境は良い。

(2) スービック湾自由港

所有・運営主体	Subic Bay Metropolitan Authority (SBMA) スービック湾岸都市庁
事業名	Subic Bay Freeport Zone (スービック湾自由港)
開設	1991年にスービック米海軍基地がフィリピンに返還された。1992年の基地転換法により設立。
スービック湾岸都市庁 担当者、 事務所所在地	Mr. Stephen C. Ferrer, Supervising Investment Specialist Rm. 104, Bldg. 225, Dewey Ave. Subic Bay Freeport Zone Tel No. + (6347) 252-4635 E-mail : scferrer@sbma.com
アクセス	マニラからスービック・クラーク・ターラック高速道路を利用。
スービック湾自由港 からの距離	マニラ中心部 (マカティ) より160km。2時間。 クラーク自由港より70km。50分。
総開発面積	自由港エリア670km ² (670,000ha)。うち2,000haを重点的に開発。土地は全てリース、建物もリースとなる。
【工業団地 その1】 スービック・ テクノパーク	Subic Technopark Cororationが開発。総面積60ha。日本電産、日立オムロンターミナルソリューションズ、山洋電気等が入居。空きなし。
【工業団地 その2】 スービックベイ・ ゲートウェイパーク	Subic Bay Gateway Park。総面積300ha。台湾系企業の入居が多い。空きわずか。

(出所) スービック自由港資料 (2017年2月) より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

スービック・テクノパーク・テナントリスト

No.	親会社名	会社名	国籍	主要製品
1	国興	KOKKO CO. LTD.	日本	
2		INNOVE COMMUNICATIONS., INC.	フィリピン	
3		HONEYWELL CEASA (Subic Bay) CO., INC.	シンガポール	
4	神港テクノス	SHINKO TECHNOS, INC.	日本	制御機器
5		SANRITSU TECHNOLOGY, SUBIC, INC.	日本	
6		MULADATU SANGUINE CORP.	マレーシア	
7	光真製作所	KOUSHIN MECHATRONICS	日本	
8	扶桑ロジスティクス	FUSO LOGISTICS PHILS., INC.	日本	
9	日本電産	NIDEC SUBIC (PHILS.) CORP.	日本	
10		PETRON FREEPORT CORPORATION	フィリピン	
11	トキワ	TOKIWA SUBIC CORPORATION	日本	
12	山洋電気	SANYO DENKI PHILIPPINES, INC.	日本	電気機械器具製造
13	ウッドワン	JUKEN SANGYO (PHILS, CORP.)	日本	
14	日立オムロンターミナルソリューションズ	HITACHI TERMINALS MECHATRONICS PHILS., CORP.	日本	
15	日本セラミック	NICERA PHILIPPINES, INC.	日本	
16		PHILIP MORRIS PHILIPPINES MANUFACTURING, INC.	米国	
17		FLAVIE SUBIC MOTOR TRADING CORP. (2)	フィリピン	
18		FILANKA SUBIC CORPORATION.	スリランカ	
19		AUTOKID SUBIC TRADING CORPORATION.	フィリピン	
20		MECCA MANUFACTURING PHILIPPINES, INC.	フィリピン	
21		MALIK SUBIC TRADING CORPORATION.	パキスタン	
22		JP KHAN CORPORATION	パキスタン	
23		MECCA LOGISTIKAS, PHILS., INC.	フィリピン	
24		SAMBONG SUBIC CORPORATION	フィリピン	
25		K-2 INT'L SUBIC CORPORATION	日本	
26		VOLKJAPAN SUBIC CORPORATION	日本	
27		JA-PHIL INTERNATIONAL TRADING CORPORATION	日本	
28		MATEEN TOKYO INTERNATIONAL, INC	パキスタン	
29		AJS SUBIC INTERNATIONAL, INC	パキスタン	
30		TWINS HK IMPORT & EXPORT CORPORATION	パキスタン	
31		ALLAN PAUL CATERING	フィリピン	
32		ALLAN MATHEW TRUCKING SERVICES	フィリピン	
33		SUBIC INTERCON CORPORATION	フィリピン	
34		GCLT LOGISTICS PHIL.,M INC.	フィリピン	
35		PORT INTEGRATED LOGISTICS INTERNATIONAL CORP.	フィリピン	

(出所) スービック自由港資料 (2017年2月) より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

スービック・ゲートウェーパーク・テナントリスト

フェーズ1

No.	親会社名	会社名	国籍	主要製品
1		ANGLO ASIA COMMODITIES CORP.	フィリピン、中国	
2		AUTOWIDE INTERNATIONAL	フィリピン	
3		BATAAN AUTOMATIVE REMANUFACTURING CORPORATION	フィリピン	
4		BOMANITE SE ASIA PTE. LTD	フィリピン	
5		CACHO HERMANOS, INCORPORATED	フィリピン	
6		CARWORLD INCORPORATED	フィリピン	
7		CHINA BANKING CORPORATION	フィリピン	
8		CHUNG LI MOTORS	フィリピン	
9		CHINMEI METAL MFG. INC.	台湾	
10		COMOSS ELECTRONIC PHILS. CORP.	台湾	
11		CONTEX CORPORATION	台湾	
12		DJ AEROSPACE, INC.	バングラデシュ	
13		ELLTONG SUBIC INC.	台湾	
14		HSIN FENG	台湾	
15		LUCKY DALE	パキスタン	貿易
16		DONG YANG FOOD MACHINERY (PHILS.) CORPORATION	韓国	
17		GRAINPRO SUBIC PHILS.	米国	
18		GREEN8 INTERNATIONAL VENTURE INC.	フィリピン、中国	
19		HHIC-PHIL. INC.	韓国	
20		HOKEI SUBIC CORPORATION	台湾	
21		JADELINK SUBIC INC.	フィリピン、中国	
22		KANEOU GLOBAL	日本	
23		LIMECH MANUFACTURING CORP.	台湾	
24		MICRO KINETICS, INC.	フィリピン、中国	
25		MISUNG SUBIC	台湾、中国	
26		MMH GLINTS INT'L	パキスタン	
27		M. WASEEM	パキスタン	
28		MSK GROUP WORKS	台湾	
29		NAKANO TONYEH INTERNATIONAL INC.	日本	
30		NARITA CHEMICAL PHIL. INC.	台湾	
31		SUNTECH	フィリピン、中国	
32		UPOWER BUILDING CORPORATION	台湾	
33		RK SUBIC	韓国	
34		HIGH GLORY SUBIC INT'L CORPORATION	フィリピン、中国	
35		SAPPHIRE INSTRUMENTS SUBIC BAY, INC.	台湾	
36		SHENGKAI CORPORATION	台湾	
37		SUBIC 999 CORP.	台湾	中古車
38		FOXCONN	台湾	
39		SUBICTRAK INTERNATIONAL INC.	フィリピン、中国	
40		SUBIC TECHNICS, INC.	台湾	
41		MCOM SUBIC CORPORATION	台湾	
42		SCORP	インド	
43		SULTAN AHMAD LOOTAH ENTERPRISES CORP.	ドバイ/UAE	
44		TAI MEN AUTO MFG. CO., LTD.	台湾	
45		TAIAN(SUBIC) ELEC. CO. LTD.	台湾	
46		TAIJIMA INTERNATIONAL VENTURES CORP.	フィリピン	
47		TAILIN ABRASIVES CORP.	台湾	
48		TAO HANG CORPORATION	台湾	
49		TECO ELECTRIC & MACHINERY CO.	台湾	
50		TONG LUNG METAL CO. LTD.	台湾	

(出所) スービック自由港資料 (2017年2月) より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

スービック・ゲートウェーパーク・テナントリスト

フェーズ1

No.	親会社名	会社名	国籍	主要製品
51		VEHICLE INSPECTION & TESTING CORP. (VITEC) INTERGRATED	フィリピン、中国	車両点検
52		WESTCOAST AUTOMATIVE CORP./ FORD SUBIC	フィリピン	
53		WISTRON INFOCOM (PHIL.) INC.	台湾	
54		Apollo Subic International Trading Corp.	イタリア	
55		YI-PHONE SUBIC CORP.	台湾	
56		SECUREBUILD CONSTRUCTION CORP.	台湾	
57		HAKHEEM KHAN & SONS INC.	中国	

フェーズ2

No.	親会社名	会社名	国籍	主要製品
1		CHIA HUNG, INC.	台湾	木製パレット
2		FANG CHAN INCORPORATED	台湾	
3		FIRM PRECISION INDUSTRIAL, INC.	台湾	
4		HITACHI AIR CONDITIONING (PHILS) INC.	ー	エアコン
5		HSIN KEY WORLD	台湾	
6		HWAH SHENG, INC.	台湾	
7		LEE MING PLASTIC CORP.	台湾	
8		LIN GEE, INC.	台湾	
9		OUPUS PLASTIC INDUSTRIAL, INC.	台湾	
10		SHIANG YOUNG RUBBER	台湾	
11		TAIWAN VALIANT MFG. INC.	台湾	
12		FREEPORT SKC, INC.	台湾	
13		MABUHAY INTERFLOUR MILL INC.	シンガポール	小麦
14		DATIAN SUBIC SHOES INC.	台湾	
15		XANTHENG (SUBIC) INT'L CORP.	台湾	
16		BLUE OAK LOGISTICS AND PROPERTY MANAGEMENT INC.	フィリピン、中国	

(出所) スービック自由港資料 (2017年2月) より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

◇ スービック湾自由港担当者のコメント (2017年2月)

➤ 概況

- ✓ スービックは元米軍基地。マニラから 110km。現在、1,600 社の入居企業あり。投資額 100 億米ドル。10 万人が雇用されている。過去、米軍が撤収した際に、3~3.5 万人の職が失われたため、政府が 1992 年にスービック自由港を設立した。
- ✓ スービック港は水深 14m。コンテナ港である。2016 年の能力 60 万 TEU を今後拡大する予定。APL、K-Line、NYK など 7 社の海運会社の船が寄港している。現在のコンテナ・ヤードの稼働率は 20%程度。
- ✓ 船便の各地への所要日数は、米国ロサンゼルス 22 日、東京 5 日、韓国 4~5 日、タイ 4 日、ベトナム 3 日、シンガポール 4~5 日である。港には 15 の埠頭がある。
- ✓ 空港がある。10 年前まで Fedex が物流拠点として活用していたが、その後、拠点を中国に移した。滑走路は 2,700m。超大型機の着陸はできない。
- ✓ 最近の大口投資としては、シンガポール社 3,000 万米ドル、韓国資材会社 600 万米ド

ル、フィリピンの太陽光発電等の会社などがある。

- ✓ 当エリアの魅力は、電力供給が安定していること、労働争議が発生していないこと、24 時間の警備体制があることなどである。ビジネスとレジャーが楽しめるエリアである。テーマ・パークも建設中。
- ✓ 観光目的の滞在も増えており、2015 年に当地を訪問した観光客は 770 万人。このため、ホテルの稼働率は 70%に上昇している。トライアスロンなどスポーツイベントを積極的に行っている。グーグルの **most searched vacation spot** にも選ばれた。
- ✓ 対岸にはフィリピン最大の造船所（韓進重工業（Hanjin）、従業員数 3.4 万人、累計 96 隻建造、面積 240ha）がある。
- ✓ 窃盗など軽微な犯罪の件数は、2007 年の 295 件から 2015 年には 20 件に減少した。
- ✓ フランス系のインターナショナルスクールがある。
- ✓ 街中には、台湾系、韓国系のホテルが多い。韓進重工業があることもあり、韓国人 1 万人が居住している。
- ✓ 現在、ゴルフ・コースを建設中。

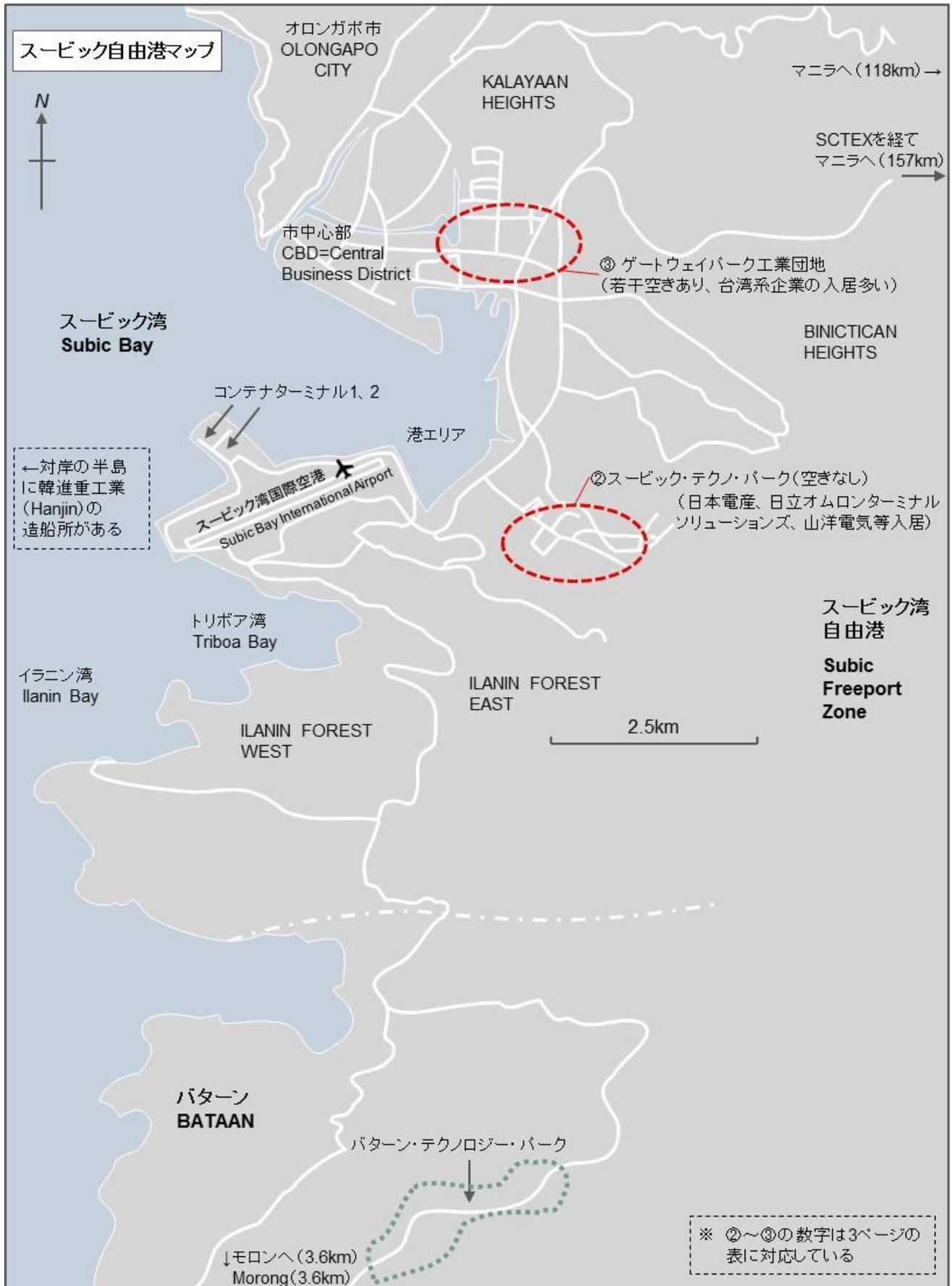
➤ 工業団地

- ✓ 現在、エリア内には以下の 2 つの工業団地ある。
 1. スービック・テクノ・パーク...53 社入居。100%入居済み。拡張計画なし。
 2. ゲートウェイパーク...73 社入居。ほぼ 100%入居済み。最近、フェーズ 2（20ha）のエリアに、台湾の靴メーカー（5ha、VAN ブランドのシューズ製造）、小麦の会社が入居した。レンタル倉庫の建設が進んでいる。
- ✓ この他、当地の対岸の韓進重工業が造船所を運営しているエリアの先に、製造業が進出できる土地がある。近隣には石炭火力発電所がある。
- ✓ 日系企業の投資はエレクトロニクス関連が多い。

スービック湾自由港の雇用人数と輸出額

	2014年	2015年
雇用人数（人）	96,958	101,651
輸出額 （FOB、億米ドル）	23	25

（出所）スービック自由港資料（2017年2月）より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成



(出所) スービック自由港資料 (2017年2月) 等より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

(3) ヘルモサ・エコゾーン工業団地（パターンに立地）

事業名	Hermosa Ecozone Industrial Park
開発者	Hermosa Ecozone Development Corporation
事業形態	Science Park of the Philippines, Inc 100%（フィリピン民間企業）
開設	2008年
所在地	15/F PSBank Center 777 Paseo de Roxas, Makati City, Philippines Tel:63-2-811-4656/63-2-841-0287 www.sciencepark.com.ph
販売担当者	山口高明氏、副社長、よろずジャパンデスク 携帯電話：+63 917 816 1604、直通電話：（+632）790-2280 tyamaguchi@sciencepark.com.ph
総開発面積	162ha
販売可能面積	124ha
販売済面積	42ha
残り入居可能面積	82ha
工業団地からの距離	スービック湾自由港まで12km クラーク自由港地域まで35km マニラ港まで96km
付帯施設等	工業団地内：PEZA、税関、貨物運送サービス、銀行、 工業団地管理棟、消防署 工業団地近隣：レストラン、ホテル、中流～高級住宅分譲地
土地リース料	PEZA登録企業：4,000ペソ/m ² 。 それ以外の企業：4,500ペソ/m ² 。
電力供給	13.2kVを440/220Vに変電し供給。供給量：10MW。PENELCO。
工業用水	18,000m ³ /日。深井戸とリサイクルシステムから供給。
下水処理	あり。
電話回線	光ケーブルあり。PLDT。
入居企業	全8社（うち日系1社[住友電装]、比系6社、台湾系1社）
最低賃金	364ペソ/日。

ヘルモサ・エコゾーン工業団地テナントリスト

No.	親会社名	会社名	国籍	主要製品
1	住友電装	Sumi Philippines Wiring Systems Corporation	日本	ワイヤー製造および自動車用ワイヤーハーネスの組立
2	Bioteque Corp	Bioteque Medical Philippines, Inc.	台湾	医療機器の製造
3		Asian Nickel Research & Technology Center	フィリピン	ニッケル鉱石の加工
4		Orient Goldcrest Realty, Inc.	フィリピン	工場および倉庫のリース
5		YH Green Energy, Inc.	フィリピン	発電
6		Biglift Properties & Development Corporation	フィリピン	工場および倉庫のリース
7		Ponderosa Leather Goods Co., Inc.	フィリピン	野球用グラブの製造
8		Northern Castle Development Realty Corporation	フィリピン	食品加工

（出所） ヘルモサ・エコゾーン工業団地資料（2017年2月）より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

ヘルモサ・エコゾーン工業団地地図



(出所) ヘルモサ・エコゾーン工業団地資料 (2017年2月) より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

◇ ヘルモサ・エコゾーン工業団地について

- ▶ バターンに位置するヘルモサ・エコゾーンは、ルソン島南部でライトインダストリー&サイエンスパークを運営している企業により出資・運営されている。
- ▶ 位置的にはスービック湾自由港に近い。
- ▶ 日系企業では住友電装が入居。土地はまだ空きがあり、大規模な土地が必要な企業の進出に適する。

Ⅱ. 三菱東京UFJ銀行フィリピン拠点のご案内

マニラ支店：Manila Branch

15th Floor, 6788 Ayala Avenue, Makati City, Philippines

電話番号：63-2-886-7371

レポート作成： 国際業務部 情報室
北村 広明
hiroaki_2_kitamura@mufg.jp

- ・ 本資料は情報提供を唯一の目的としたものであり、金融商品の売買や投資などの勧誘を目的としたものではありません。本資料の中に銀行取引や同取引に関連する記載がある場合、弊行がそれらの取引を応諾したこと、またそれらの取引の実行を推奨することを意味するものではなく、それらの取引の妥当性や、適法性等について保証するものでもありません。
- ・ 本資料の記述は弊行内で作成したものを含め弊行の統一された考えを表明したものではありません。
- ・ 本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。最終判断はご自身で行っていただきますようお願いいたします。本資料に基づく投資決定、経営上の判断、その他全ての行為によって如何なる損害を受けた場合にも、弊行ならびに原資料提供者は一切の責任を負いません。実際の適用につきましては、別途、公認会計士、税理士、弁護士にご確認いただけますようお願いいたします。
- ・ 本資料の知的財産権は全て原資料提供者または株式会社三菱東京UFJ銀行に帰属します。本資料の本文の一部または全部について、第三者への開示および複製、販売、その他如何なる方法においても、第三者への提供を禁じます。
- ・ 本資料の内容は予告なく変更される場合があります。

クラーク、スービック、バタンの工業団地

(フィリピン投資環境レポートルソン島北部編 パート2付録 三菱東京UFJ銀行 国際業務部作成 2017年4月)

